

全溶連

2024年10月 第210号 www.zenyoren.com/

- 全溶連 現場を守り 80年
- 重ねよう 細かな確認 自主保安



(全溶連は2030年度に向けて掲げたSDGsの目標に取り組んでいます。)



鉄道博物館

写真提供：一般社団法人埼玉県物産観光協会

2024年度理事会・評議員会合同会議	02	賛助会員の広場	11
委員会報告	08	(株式会社神戸製鋼所／大陽日酸株式会社／	
単位組合紹介(埼玉県高圧ガス溶材協会)	09	日東工器株式会社／日本レヂボン株式会社)	
「全溶連におけるSDGsの取り組みについて」		お知らせ	15
パンフレット	10	(写真コンテスト／全溶連・福祉共済制度のご案内)	

2024年度 理事会並びに評議員会 合同会議開催



2024年度理事会並びに評議員会合同会議が2024年9月20日(金)東京グランドホテルで開催されました。来賓として経済産業省の牟田高圧ガス保安室長、高圧ガス保安協会の越野理事の両名をお迎えし、理事・監事・評議員の37名が出席し、また、年金基金、報道関係2社及び組合オブザーバーとして東京・東海・大阪の事務局長が出席されました。

定刻、事務局より本会議が成立している旨報告し、次いで来賓の経済産業省保安室の牟田高圧ガス保安室長、高圧ガス保安協会の越野理事が紹介されました。

開会にあたり石川副会長より「本日の会議は、限られた時間で多くの議事がありますがスムーズな議事進行と有意義な会議になるよう皆様のご協力をお願いしたい」と挨拶されました。

引き続き深尾会長より「6月7日に大阪で開催した第81回全溶連総会は、皆様のご協力によりつつがなく終了いたしましたことを感謝申し上げます。



深尾 会長

なお、第82回全溶連大会は、来年6月12日に名古屋で開催することになりました。東海高圧ガス溶材組合連合会が主体となり開催に向けて準備を進めているところです。

さて、我々を取り巻く環境に目を向けると、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、パレスチナ問題によって社会的・経済的不安がひき起こされ、エネルギー・資材の高騰、円安動向、物流コストの上昇、人手不足などの影響を受けて、これまでに経験したことの無い様相を呈しています。

また、8月末に各地に被害をもたらした台風10号をはじめとする豪雨被害の増加や、8月8日に発生した日向灘地震とその後の南海トラフ地震情報の発表など、自然災害に対する社会的不安も増大しています。

全溶連では、河川の増水に伴う高圧ガス容器の流出や、地震に伴うガス漏洩等を防止すべく、関係団体と協力して対策の徹底を図っております。また、高圧ガスは災害復旧に必要な不可欠な資源であることから、災害時でも安定供給に支障をきたすことのないよう、関係機関との連携強化にも注力しております。

しかしながら、消費先における高圧ガス災害事故状況は、依然として高水準で推移しています。いずれの事象においても誤操作・誤判断によるヒューマンファクターが原因の上位を占めることも変わりません。引続き緊張感をもって事故防止に努めていかなければなりませんし、消費先における取扱いガスの特性や機器の使用方法を再確認いただくことが重要になります。

また、放置容器の対策としては、今年も10月

にJIMGAと共同で「高圧ガス容器全国一斉特別回収」を実施、管理不在の放置容器がないか、消費先への周知と確認をお願いしてまいります。経済産業省が毎年10月23日から実施しております「高圧ガス保安活動促進週間」、それから「危険物運搬車両に対する指導取締」についても指導の徹底をお願いします。

全溶連では、会員各位のガスビジネスの延長上で社会課題を解決し、持続可能な世界を目指す「SDGs活動」に取り組んでいます。環境問題をはじめ、公共の安全や、質の高い教育、クリーンエネルギーを提供し、業界の地位向上に努めてまいります。

そして今後の全溶連高圧ガス保安活動においては、生成AIのテクノロジーをキャッチアップし実現化に向けて取り組んでまいります。

全溶連と致しましては今後も、皆様から様々なご意見を頂戴しながら、一層充実した活動を展開していきたいと思っておりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

最後に本日の議事の円滑な進行にご協力いただきますようお願いして、私の挨拶とさせていただきます。」と挨拶されました。

続いて来賓の経済産業省産業保安・安全グループ高圧保安室の牟田室長が「高圧ガスの保安は日々全国津々浦々で事業をされている皆様の日々の努力によって成り立っている。高圧ガス事故は減少しておらず、そういった状況を踏まえた保安の実施、保安体制の維持、より安全を目指した幾多の取り組みが非常に重要だ。連合会には保安教育を始めとした高圧ガス保安行政への協力に感謝しているが、保安教育により現場で働く一人一人が保安の重要性を理解すること、災害時にどう対応するのか、また災害が起きたときに実際行動に移すことが非常に重要だ。スマート保安という人手不足・人材育成の課題を克服するために、テクノロジーの活用を進めているところだが、そういった取り組みを通じて非常に厳しい状況のなか、一層の保安確保と保安向上に向けた協力をお願いしたい」と挨拶されました。



経済産業省
産業保安・安全グループ
高圧保安室 牟田室長

さらに来賓の高圧ガス保安協会の越野理事が「近年の高圧ガス分野の保安について振り返ると喪失・盗難を除く高圧ガス事故件数は平成30年の870件をピークに減少傾向にあるが、令和5年の事故件数も693件と依然として



高圧ガス保安協会
越野理事

高い水準にある。人身事故についても、死者を伴う事故が令和元年以降連続して発生しており、昨年も3人が亡くなった。近年の人身事故は人為的なミスに起因するものが増えており、本年に入り地震や台風などの自然災害が激甚化しており、大きな被害が各地にもたらされている。高圧ガスを取り扱う我々は、突如としての自然災害が発生しても国民が安心して生活できるよう一丸となって、これまで以上に保安の確保に取り組んでいかなければならない。より一層の高圧ガスの保安を推進していくようお願いしたい」と挨拶されました。

引き続き牟田室長により「最近の高圧ガス保安行政について」と題した講演が行われた。高圧ガス保安法は非常に幅広く、全溶連が直接関係すること以外のことも多く含まれるが大きな方向性としてとらえて欲しいとのこと。2022年には高圧ガス保安法の大改正が四半世紀ぶりに行われ、認定制度が新しくなり燃料電池自動車の規制の一元化が行われた。高圧ガス保安法の規制の全体像としては容器などのモノの規制と、製造・貯蔵・販売・移動・消費・廃棄などの行為の規制があり、一般高圧ガス保安規制（一般則）、コンビナート等保安規則（コンビ則）、液化石油ガス保安規則（液石則）、冷凍保安規制（冷凍則）のそれぞれの省令が運用されており、全溶連と関係の深い容器保安規制（容器則）は分野ごとの省令と合わせて運用される構造となっており、この容器則や行為にあたる例えばコンビ則なども意識してほしいとのこと。それを前提に踏まえて、令和5年の高圧ガス事故の発生状況、重大事件事例、事故の原因分析、また高圧ガス保安法等の一部を改正する法律としてセンサー、ドローン、AIを活用するスマート保安の促進、カーボンニュートラル実現に向けた保安規則の整備についてなどの説明があった。

なお、講演会の資料については全溶連ホームページ

ージ（会員ページ）に掲載しております。

引き続き、深尾会長を議長とし議案審議に入った。

第1号議案 2024年度役員構成(期中異動)の件

事務局より本年6月の総会以降の評議員、代議員の方の期中異動について代議員は長野組合、東海組合各2名、静岡組合1名の異動があり、評議員は長野組合1名の異動があった。単位組合代表者は長野組合の代表者が異動、委員会委員については、長野組合（経済委員会）の異動があった旨の報告を行ないました。

1号議案は拍手で承認されました。

第2号議案 常置委員会の2024年度活動方針について(7委員会)

各委員長より2024年度の活動方針について順次報告がありました。

総務委員会（関口事務局長代理報告）

総務委員会は総会・大会の計画および開催準備を基本に活動していく。

今年の6月第81回全溶連総会が大阪では第73回の総会以来8年ぶりに、大阪高压ガス溶材協同組合の協力により大阪ガーデンパレスで初めて開催することができた。

来年の6月12日に予定している第82回全溶連大会「東海」は、名古屋マリOTTアソシアホテルで開催に向けて鋭意準備している。

また、今年度の7つの委員会の開催については、引き続き感染リスクを考慮して、オンライン、対面のハイブリッド形式による開催を予定している。

1. 来年6月の第82回全溶連大会「東海」の開催準備を中心に全体予算の策定を準備して参りたい。基本的にはコロナ前と同じ規模で運営を考えているが、ご来賓の選定等、東海高压ガス溶材組合連合会の協力を頂きながら進めていく。
2. 再来年の6月の第83回全溶連総会については、東京での開催となるので東京都高压ガス溶材協同組合の協力を頂きながら開催を計画し、会場

の選定、事前準備も併せて進めていく。

3. 業界功労者及び国家表彰に関しては、全溶連表彰規程に基づいて候補者の選任、推薦を進めていく。

組織委員会（竹腰委員長）

組織委員会は、従来通り組織の整備拡充と会員増強を基本に活動していく。

1. 未加入事業者の実態について継続して調査していくとともに、単位組合加入で全溶連未加入のところに対し、引き続き加入促進を図っていく。しかしながら、合併、廃業等が原因で年々会員数は減少している。2023年4月の会員数1,339社に対し2024年4月の会員数は1,311社とこの1年間で28社の減少となっており、特に都市部の組合の会員減少が顕著となっている。

ご承知の通り、各単位組合の会員の増減が直接全溶連の会員数の増減に連動しており、全溶連としては会員メリットを訴えて、各単位組合には是非とも未加入の販売店に加入推進のアプローチをお願いする。

2. 全溶連では、定款に定める7つの委員会を設けて運営、活動に取り組んでいるが、各委員会における定数を定めていないため、今後の委員選出に偏りが発生することが懸念されることから、本年度の各委員会選任についてはバランスを考慮した選定を各組合にお願いした。
3. 賛助会員については、2024年度においては38社であり、その内の一団体であるJIMGAについては、会費の見直し申入れを受けたことで、全溶連としてはJIMGAに含まれるガスメーカーに対して、個別に賛助会員加入交渉に取り組んでいる状況である。引き続き賛助会員の加入推進に取り組んでいくので協力をお願いする。

賛助会員としての加入メリットとして、広報委員会の協力により会報誌の賛助会員の広場にて紹介記事を掲載する予定である。

財務委員会（柳川委員長）

財務委員会は、今後も会員減少が見込まれる中、厳しい財政運営となることが予想されるが更なる財政健全化を目指すことを基本に活動していく。

今年度の常置委員会については、引き続き対面形式とハイブリット形式を併用した開催を行っていくものの、多くは対面形式での開催に推移する

と思われ、委員会活動費の増額が見込まれる。また、会費収入も正会員の減少による減収が見込まれる。

このような状況の中、事業収入である保安文書関係は、コロナ感染前の状況に戻ってきていることもあり、全国各地において消費者講習会が開催されテキスト関連の販売増が予想され、併せて文書類原材料高騰による仕入価格上昇を受けて、販売価格の値上げが実施されたことでの収入増が見込まれる。

また、昨今の宅配運賃や郵便料金の値上げに対応するべく電子化、ペーパーレス化、事務効率化を推進し各種送付書類を極力メール添付等に変更して経費削減に努めていく。

- 1.2024年度収支見込の作成及び2025年度の収支予算案の作成を中心に活動していく。
- 2.収入と支出のバランスを的確に管理、把握しながら全溶連財政の健全化を目指したチェック機能を中心に活動していく。

経済委員会（佐藤委員長）

2024年度の経済委員会活動計画としては以下の内容を推し進めていく。

事業計画（2024年度）

- 1.保安契約促進に関する取組の強化
- 2.容器指針の活用、取り組みの調査・推進
- 3.高圧ガス販売に携わる方への教育支援資料の提供
- 4.経済動向、市況調査に関する情報の共有化
- 5.消費者講習会に関する啓発活動
- 6.「SDGs」活動の推進、運営
- 7.高圧ガス保安連絡会議の開催、メンバー強化の検討
- 8.賠償責任保険の加入促進

活動計画・内容

- 1.保安契約に関する件は、基本契約について現在実施しているアンケート内容に基づき、各地域の状況を分析し、各契約ごとに実行案を検討する。合わせて、現在、検討中の電子契約に関し、既に実行している会員様に10月4日の委員会において実例を拝聴予定。
- 2.容器指針の活用については、各地域の容器管理委員会ごとの回収ルールに関し調査を行い、全国統一の容器回収マニュアルの作成の草案を

討する。

- 3.高圧ガス販売に携わる方への教育支援資料の提供に関し、アンケート調査などの結果を踏まえて改定販売時マニュアルの再構成案を検討する。
- 4.経済動向、市場調査に関する情報の共有化に関しては、アンケート調査の結果に基づき鳥インフルエンザや豚熱に関する取り組み実状を分析し、具体的な対応に関して検討する。
- 5.消費者講習会に関する啓発活動は、保安委員会との連携により進めて行き緊急時における情報提供の対応策の検討などを行う。
- 6.「SDGs」活動の推進と運営に関しては、パンフレットの作成や動画などの公開などを通して会員に対して啓発活動を継続し、保安委員会と連携しながら活動して行く。
- 7.高圧ガス保安連絡対策会議の開催に向けて、協議の場にKHK様などの業界関係の組織からの参加を促して、より業界としての結束を固めた活動を行う。この案件に関しても保安委員会との連携を図りながら実行して行く。
- 8.賠償責任保険の加入促進に関して、補償した実績などをアピールし団体保険としてのメリットを広く理解いただき、さらなる加入促進を目指して行く。

保安委員会（大岡委員長）

2024年度の保安委員会活動計画としては、以下の内容を推し進めていく。

事業計画（2024年度）

- 1.高圧ガス保安法及び関連法規の周知徹底とその遵守
- 2.主管庁・協会への献策・関係法規制に対する意見具申、伝達指導
- 3.高圧ガス保安法に基づく「周知させる義務」の高度化・活性化
- 4.消費者講習会開催など、消費者に対する啓蒙、自主保安活動の指導・推進
- 5.関連業界及び団体との高圧ガス関連保安活動のさらなる活性化
- 6.高圧ガス容器全国一斉特別回収運動の継続実施と危険容器等処理活動
- 7.高圧ガスの乱用、悪用および犯罪抑止、自然災害対策のための活動
- 8.持続可能な高圧ガス活用社会実現ための目標達成

活動計画・内容

1. 高圧ガス保安法及び関連法規の周知徹底との遵守

- ・「高圧ガス保安レベル底上げのために行なう調査結果の解析」と提案募集・実施検討
- ・会員および各事業所販売主任者に対するコンプライアンス調査のためのアンケート実施
- ・本年例示基準改正内容の会員および講習会受講者など消費現場への周知徹底
- ・労働安全衛生法に関連する法改正、義務事項の効果的な伝達の検討、実施
- ・リスクアセスメント内容提供の検討・準備。

2. 主管庁・協会への献策・関係法規制に対する意見具申、伝達指導

- ・保安技術の向上、容器問題改善のための協力量要請、ならびに環境変化などに対応した要望
- ・SDGs認証についての調整(経済委員会と共同)

3. 高圧ガス保安法に基づく「周知義務」の高度化・活性化

- ・周知文書補完用英文周知文書の公開、外国人作業員への法的義務推進
- ・英語版周知文書の各国語への展開ニーズの調査、模索
- ・表紙画像の活用、1.の保安法改正内容の周知徹底

4. 消費者講習会開催など、消費者に対する啓発、自主保安活動の指導・推進

- ・保安講習会テキストの高品質化ならびにSDGs活動との連携強化
- ・各地における消費者保安講習会停滞の問題分析
- ・2年後の安衛法対応(化学物質管理者の選任)の改訂対応の検討
- ・公開済み保安法解説動画コンテンツとの連携強化、PR
- ・事故事例を元にした、教訓や注意点の喚起を行う啓発資料提供の検討
- ・オンライン提供情報時代に向けた広告掲載の検討

5. 関連業界及び団体との高圧ガス関連保安活動のさらなる活性化

- ・高圧ガス保安連絡会議の開催、メンバー強化の検討(経済委員会と共同)

6. 高圧ガス容器全国一斉特別回収運動の継続実施と危険容器(放置、長停)等処理活動の支援

・恒例の「高圧ガス容器全国一斉特別回収運動」の推進・集計

・放置容器処理マニュアルの紹介、推進(経済委員会と共同)

7. 高圧ガスの乱用、悪用および犯罪抑止、自然災害対策のための活動

・犯罪抑止等対応保安台帳を計画、ホームページでのPR内容を検討

8. 持続可能な高圧ガス活用社会実現ための目標達成

・全溶連におけるSDGs活動紹介パンフレットの制作、提供(経済委員会と協力)



厚生委員会(中尾委員長)

厚生委員会活動計画としては、これまでと同様、団体定期保険、団体傷害保険、団体医療保険、長期障害所得補償の加入促進を基本に活動していく。

1. 団体定期保険加入促進キャンペーン第9弾として、2023年10月から2025年3月までの期間にて、ポイント加点によるキャンペーンを実施する。上位5組合については、第82回全溶連大会東海で表彰する。

2. 2024年1月の更新募集の結果、全体では前年度より加入人員は5名減の3,296名、加入口数は46口減の7,748口となっており、引き続き全溶連福祉共済制度について会員事業所様にご理解いただき共済制度の充実に努めていく。

3. 2024年度の保険料は、370円の10円増、募集掛金は1口580円と昨年同様だった。差額の制度運営費が組合財政に貢献しており加入促進をお願いしたい。

4. 医療保険については、ここ数年横ばいで1月は146名、8月現在では142名と若干減っており、目標の150名に向けて加入促進を図りたい。長期障害所得補償保険がスタートして以来7年が経過したが、現在2社のみでの加入となっていることから、加入を検討頂くよう協力をお願いしたい。

広報委員会(関口事務局長代理報告)

広報委員会は、従来通り会報誌の発行を基本に活動していく。

1. 2024年度活動方針について

- ・会報誌の発行（年4回）、ホームページの拡充を基本に活動していく。
2. 会報誌発行スケジュール及び記載内容について
- ・特集記事としては各号にて単位組合紹介記事の連載を継続していく。来年2025年1月号の特集記事としては群馬県高圧ガス溶材協会の新春座談会の掲載を予定している。次の2026年新春座談会開催は大阪高圧ガス溶材組合を予定しているので協力をお願いする。
 - ・賛助会員の紹介記事として賛助会員の広場を設けており、新規加入会員を優先して紹介している。また、従来の会員紹介は、年4回の会報誌の発行で8社となっていたが、10月号から年4回の発行で2倍の16社とする。
 - ・写真コンテストは、今年度で第15回目の開催の予定なので奮って応募いただきたい。また、今年度第4回目となる「高圧ガス川柳」の募集を企画しているので、皆様の応募をお願いしたい。
 - ・会報誌の発送は、現在、ゆうメールにて全会員様1470社宛に発送しており、10月から郵便料金の大幅値上げもあり、今後の会報誌の在り方についてデジタル化への移行も検討したいと考えている。

3. 全溶連ホームページについて

全溶連ホームページについては、タイムリーな情報提供に努め、運用面でのサービス向上、セキュリティアップとウイルス対応にも取り組んでいく。

掲載内容についてのご要望があればお知らせ頂きたい。

議長は、以上の常置委員会の活動方針について議場に諮り、拍手で承認された。

第3号 議案

第81回全溶連通常総会 収支承認の件

事務局より6月に開催された第81回総会時の収支を報告した。

1. 総会収入の部：920,000円
(予算：1,200,000円)
懇親会参加費92名@10,000円
2. 総会支出の部：2,270,751円
(予算：1,300,000円)

大会印刷物資料等、会場費、宿泊費、懇親会関係費等の合計金額

3. 差引全溶連負担額：1,350,751円
(差引予算：100,000円)

3号議案は拍手で承認された。

第4号 議案

全溶連福祉共済制度の報告

事務局より福祉共済制度の状況について説明した。

(1) 全溶連福祉共済制度の運用状況

① 団体定期保険の加入状況

2024年8月1日現在加入事業所数298事業所、加入人員3,296人、加入口数7,748口となっている。

② 2024年度募集スケジュール

募集開始日 2024年10月1日(火)

募集締切日 2024年11月1日(金)

効力発生日 2025年1月1日(水)

③ 各種保険の増減状況（2024年8月1日現在）

団体定期保険…2024年1月比

加入人員▲5名、加入口数▲46口

傷害補償…2024年1月比

加入人員6名増、加入口数▲13口

医療補償…2024年1月比

加入事業所▲1社、加入人員▲4名

(2) 全溶連賠償責任保険制度について

2024年7月度の募集結果について

加入事業所数：483社（23年7月比▲14社）

加入率56.0%（目標50%）

保険料：63,543千円（23年7月比+866千円）

賠償責任保険加入者における直近事故20件の支払例について説明があった。

今後の課題他

平成25年7月から従来では対応できなかった施設に関する賠償責任事項を対象に含め補償範囲を広げ、会員の皆さんに利用しやすい保険料負担で大きな補償が得られる内容に改定している。今後の賠償責任保険制度のPR・事故事例の活用等により加入率アップを中心として取り組んでいく。

4号議案は拍手で承認された。

第5号
議案

その他の報告

その他報告事項6項目を事務局より報告した。

- 1.全溶連会員状況について（2014年から2024年の会員数の推移）
- 2.高圧ガス保安協会年会費按分について（2024年度分）
今年度も従来の固定費+変動費按分方式で算出した金額を各組合宛に請求する旨を報告した。
- 3.全溶連保安文書頒布状況報告
周知文書（2024年版）199,329部、LP用周知文書は16,588部頒布した。
- 4.2024年度全国一斉容器特別回収運動について
回収期間：2024年10月1日～10月31日

対象容器：1) 放置容器 2) 使用済容器
5.放置容器処理事業（特別枠）の実施状況について
2024年度の処理申請状況等を資料に基づき報告した。

5号議案は拍手で承認された。

以上ですべての議事が終了した。最後に河西副会長より「我々が事業を継続する大前提は高圧ガスの保安で、最優先に取り組まなければいけない課題だ。いずれにしても今年も全溶連の会員各位が同じ方向を向いて高圧ガス事故の撲滅を図り、日常の事業活動そのものがSDGsの17の個別目標の多くに合致する観点から、全溶連のSDGs宣言への意識を高めて欲しい」という挨拶で閉会となった。

委員会報告

2024年9月

広報委員会

日時 2024年9月6日(金) 14:00～16:00
場所 エッサム神田ホール1号館 802号室
出席者 藤本委員長他5名、事務局2名
議題

- 1) 2024年度活動方針について
会報誌の発行（年4回）、ホームページの拡充を基本に活動していく。
- 2) 会報誌発行スケジュール及び記載内容について確認した。
・特集記事：新春座談会開催先は、2025年新春座談会開催候補は群馬組合に予定している。2026年新春座談会は大阪組合に依頼することとなった。



- ・単位組合紹介記事の10月号は埼玉、1月号は千葉、4月号は栃木、7月号は群馬の順で掲載していくことで決定した。
- ・賛助会員の広場の広告掲載は、10月号より掲載を2社から4社に増やし来年7月号まで以下のとおり掲載することで決定した。
10月号：大陽日酸(株)、(株)神戸製鋼所、日東工器(株)、日本レジボン(株)
1月号：エア・ウォーター(株)、日本ウェルディング・ロード(株)、(株)ネリキ、あいおいニッセイ同和損保(株)
4月号：日本液炭(株)、デンヨー(株)、函館酸素(株)、神鋼商事(株)
7月号：高圧ガス工業(株)、小池酸素工業(株)、ニッコー溶材工業(株)、(一社)日本産業・医療ガス協会
- ・第15回写真コンテストの募集記事を10月号に掲載する。
- ・4コマ漫画については引き続き作者にお願いし継続していく。
- ・第4回高圧ガス川柳募集記事を掲載する。
- ・会報誌のデジタル化については閲覧者の減少を危惧する声もあり継続審議とした。

単位組合紹介

埼玉県高圧ガス溶材協会

所在地 〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-4-9
太陽生命ビル6階

TEL:048-833-1878 FAX:048-822-6809

会長 小宮康一郎(株三和商会 代表取締役社長)

会員 正会員:58社 賛助会員:6社

沿革 昭和39年3月 埼玉酸素溶材商業会創立
昭和41年4月 埼玉県高圧ガス溶材組合に改称
平成7年6月 埼玉県高圧ガス溶材協会に改称

組織 会長 1名 副会長 4名 理事 11名 監事 2名 事務局 2名(兼務)

目的 本協会は、会員相互の緊密なる連携協調のもとに、保安の確保に努め、業界の健全なる発展並びに社会的地位の向上に資すると共に会員相互の親睦を図ることを目的とする。



小宮康一郎会長

主な活動内容

①保安活動

高圧ガスの保安に対する活動としては、保安講習会の開催と放置容器の回収を実施している。保安講習会では高圧ガスの一般消費者向けに「高圧ガス消費者保安講習会」を毎年2月に開催し、高圧ガスの取扱い上の危険性や注意すべき事項等を学んで頂いている。

また、会員を対象とした保安講習会としては「販売責任者保安セミナー」と「運送担当者等保安講習会」を開催して受講者の業務上に必要な知識を中心に講義を行っている。

各々の講習会では、埼玉県危機管理防災部化学保安課から講師をお招きし、法令の説明及び最新の事故事例について解説を行って頂くことにより、高圧ガスを取り扱う業務の安全確保に役立っている。

また昨年頃より、高圧ガスの成分の安全性や輸送時の安全な作業等、労働安全衛生法上の取組も求められてきているため、講習会での内容に変化が必要となっている。

放置容器の回収については、高圧ガス消費者に向けた早期回収の啓発のため、埼玉県危機管理防災部化学保安課監修の「高圧ガス容器保安管理指針」を作成して講習会等の機会のあるご

とに配布している。

ここ最近、埼玉県内では建築ラッシュとなる中、工事現場の地中から掘り出された放置容器が増える傾向にあり、速やかな回収が求められている。

②高病原性鳥インフルエンザについて

緊急時の殺処分用炭酸ガス供給について埼玉県農林部畜産安全課との間で覚書の形で合意しているが、合意後の度重なる発生時の炭酸ガスの供給実施状況を踏まえて、症例発生時の迅速な炭酸ガスの供給と安全な作業実施のため、合意文書の改訂作業を県畜産安全課と進めている。

③会員の増加について

当協会の会員数は令和元年から現在までに9社退会となっており、会員数の増加に苦労しているが、販売店における後継者不足や従業員の高齢化・人手不足から廃業やM&Aが進んでおり、会員数の増加は難しい状況になっている。

会員数維持の取組も必要だが、会員同士同じ業界の仲間意識をもって情報共有することが求められている。業界・販売店をどのように維持・発展させていくか知恵を出し合う勉強会等を充実することも必要だと考えている。

以上

「全溶連におけるSDGsの取り組みについて」パンフレット

この度「全溶連におけるSDGsの取組について」のパンフレットができました。
全溶連が推進する、持続可能な開発目標(SDGs)への取組についてご説明しております。



全溶連におけるSDGsの取り組みについて

Introduction

いつも全溶連活動にご協力いただき、ありがとうございます。
全溶連が推進する、持続可能な開発目標(SDGs)への取組についてご説明いたします。

2024.6



■ SDGsの概要

持続可能な開発目標(SDGs)は、2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標です。これは全加盟国が一致して採択し、発展途上国のみならず先進国も取り組む普遍的な目標です。

■ 高圧ガス業界の歴史と安全確保

高圧ガスは、そもそも国内産業界の黎明期に、日本の社会に明るい未来をつくるために導入され、産業界のインフラとして重要な役割を果たしてきました。明治時代末期に輸入され、酸素やアセチレンを利用した精密な金属加工が可能となり、日本の産業を支えてきた技術ですが、大正年間以降、活発に利用されるようになった高圧ガスから、さまざまな事故が多発し、公共の安全確保が急務となりました。このため「圧縮瓦斯及液化瓦斯取締法」が大正10年に施行され、後に高圧ガス取締法の基礎となり、現在の高圧ガス保安法へとつながっています。



■ 高圧ガス業界とSDGsの目標の一致

高圧ガス業界の先人たちは、事故の防止と公共の安全確保を目的に、多くの努力を重ねてきました。現在も継続的に続けられている代表的な物として、法的には保安台帳の作成・更新、容器の所在管理や登録および状態確認、災害発生防止の情報周知と記録、従業員への保安教育、販売届の管理や主任者の選任はもちろんのこと、自主保安として業界団体を構成し、販売主任者や経営者・従業員、さらには需要家(高圧ガス消費者)に対する大規模な保安教育、あるいは地域容器管理委員会の主導による設置容器や管理不在容器の回収・処理、行政や官憲からの情報の共有、治安維持活動への対応や保安訓練の実施、最近では動物感染症や広域災害発生時の緊急対応についての協定締結をはかることも行っております。

こうした努力により、高圧ガスの利用が安全に行われ、産業界の発展を支えてきました。その取り組みは、高圧ガスを抱える豊かな社会を維持し続けるというものでしたが、21世紀となった現在、SDGsの目指す持続可能な未来を築くという目標と合致しています。






■ SDGsを通じたさらなる推進

全溶連では、これまでの取り組みをSDGsを通じてさらに強化し、業界全体の安全意識を高めることを目指しています。具体的には持続可能な未来を築くため、自主保安活動を行う会員支援に寄与する、以下のような取り組みを推進します。

- 目標2: 飢餓をゼロに
鳥インフルエンザ感染症抑制: 炭酸ガスの供給に以動物感染症対策に貢献。
- 目標3: すべての人に健康と福祉を
吸引系ガス利用抑制: 契約見直しや注換検査資料の提供を通じてガスの誤用や乱用を防止。
高圧ガス誤吸引防止: 契約見直しや保安台帳の様式変更で、ガスの誤用防止を徹底。
- 目標4: 質の高い教育をみんなに
危険性啓蒙: 保安資料再編や改訂を行い消費者向けに高圧ガスの危険性を啓蒙。
学校教育向け資料の提供: 一般的な危険性説明資料を提供し、学校での教育を支援。
- 目標5: ジェンダー平等を実現しよう
女性の参加促進: 業界内で女性の参加を促進しジェンダー平等を実現。
- 目標7: エネルギーをみんなにそしてクリーンに
水素ガスの普及対応: 水素ガスの特有の危険性を周知し、安全な普及を支援。
- 目標9: 産業と技術革新の基盤をつくろ
水素ガスの拡張推進: 水素ガスの安全利用を促進し、産業と技術革新を支えます。
- 目標11: 住み続けられるまちづくりを
高圧ガスの公道移動の安全性改善: 公道移動における適法なリベンチを実施。
設置容器の迅速回収: 公共スペースから危険な不法設置容器の回収を推進。
- 目標12: つる責任つなぐ責任
廃棄容器漏れガス防止: 容器貸与契約の徹底や早期回収を促進し環境への悪影響を防止。
- 目標13: 気候変動に具体的な対策を
気候変動の影響軽減: 供給先のガスや容器流出対策を強化。
- 目標16: 平和と公正をすべての人に
容器の盗難防止: 容器盗難防止対策を徹底し、悪用されないよう管理を強化。
- 目標17: パートナシップで目標を達成しよう
地域ルールでの把握と遵守: 全国の地域ルールを把握、業界団体との協力を強化。

■ 全溶連のSDGs宣言

全溶連は、SDGsの目標達成に向けて、2023年の第80回記念大会において、以下のように宣言を行いました。「持続可能な社会の実現に向けて、全溶連は以下の取り組みを推進します。高圧ガスの安全な利用を通じて、環境保護、公共の安全、そして平和で平等な社会を実現します。我々の活動は、高圧ガス業界全体の発展と、持続可能な未来を支えるために重要な役割を果たします。」



その発表時に公開された動画は、全溶連ホームページのリンクから、または右のQRコードからご覧いただけます。

■ まとめ

幸い、我々の業界は、かつて行政の強力な指導の下、危険物である高圧ガスを取り扱い、その活動によって業界において高圧ガスの保安を推進し、その恩恵を受け続けられる社会を継続させてきたという使命を全うし、その結果、業界は100年以上継続してきました。

しかし、その役目が必要とされてきた努力が適切な自主保安に引き継がれなかったら、未来にガスの利用できる豊かな社会を残せず、当然ビジネスも成り立たなくなっていくに違いありません。

SDGsを好機としてそうした努力を推し進めなければ、その将来は必ず自分自身や自分の会社にも訪れるという危機意識の下、全国で、あるいは各社で取り組んでいる高圧ガス事業に付随する自主的活動や業界活動の認識を新たにし、全溶連の取り組みと呼びかけてさらなる活性化を目指して、その方法論の改善も含め、保安活動を徹底し、一層活発に推し進めていきます。





QRコードから全溶連HP「全溶連におけるSDGsの取り組みについて」パンフレットをご覧ください。



「高圧ガス消費者保安講習会テキスト」について

2024年9月改正版を発行、より一層内容を充実させました。

- ・法令部分の改訂並びに、SDGs活動に関わる部分に解説
- ・高圧ガス保安法関連部分を解説する動画を YouTube で公開しております。

QRコード：全溶連HP「高圧ガス消費者保安講習会テキスト」ページからもご覧いただけます。



「英語版 周知文書」について

この度「【英語版】溶接・溶断高圧ガス（溶接または熱切断用アセチレン・液化石油ガス・酸素）向け」の周知文書ができました。

QRコード：全溶連HP「周知文書」ページの一番下に掲載していますので、ご活用ください。



産報出版ホームページから飛び出したWEB版 **新メディア**

WELDING MATE

《ウェルディングメイト》

溶接界で75年以上続く新聞「溶接ニュース」から選りすぐり、
「技能者」「現場ルポ」「魅力的な製品」など、
溶接を「身近に感じる記事」を、興味のある方に無料開放!



こちらのQRコードからご覧いただけます↑

産報出版株式会社

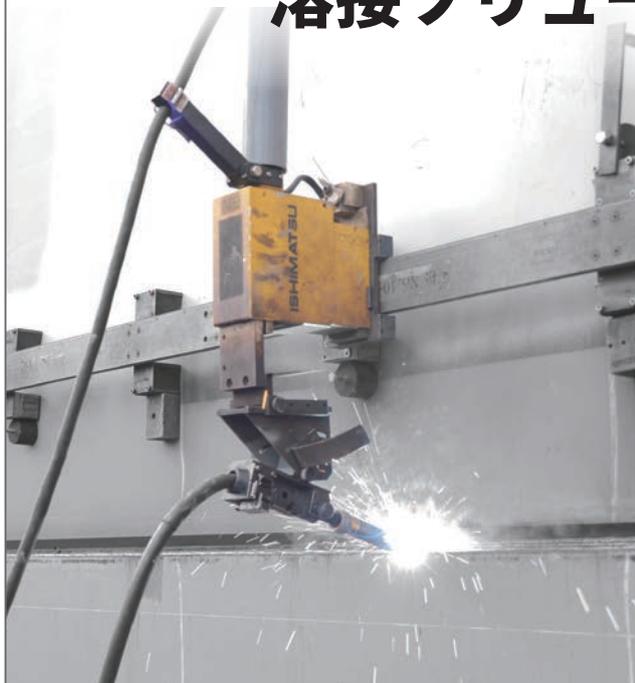
●東京本社：TEL：03-3258-6411 FAX：03-3258-6430
●関西支社：TEL：06-6633-0720 FAX：06-6633-0840



賛助会員の広場



世界で最も信頼される 溶接ソリューション企業



KOBELCO

株式会社神戸製鋼所

溶接事業部門

<https://www.kobelco.co.jp/welding/>

マーケティングセンター

マーケティング企画室 TEL. 03-5739-6321 FAX. 03-5739-6958

国内営業部

東日本営業室

(溶接材料)

(システム)

北海道営業所

東北営業所

中日本営業室

TEL. 03-5739-6323

TEL. 03-5739-6325

TEL. 011-261-9334

TEL. 022-261-8812

TEL. 052-584-6075

FAX. 03-5739-6958

FAX. 03-5739-6958

FAX. 011-251-2533

FAX. 022-261-0762

FAX. 052-584-6109

西日本営業室

(溶接材料)

(システム)

中国営業所

四国営業所

九州営業所

TEL. 06-6206-6390

TEL. 06-6206-6423

TEL. 082-258-5305

TEL. 087-823-7444

TEL. 092-451-6012

FAX. 06-6206-6458

FAX. 06-6206-6458

FAX. 082-258-5309

FAX. 087-823-7333

FAX. 092-473-8238

コベルコ溶接テクノ(株)CS推進部 カスタマーサポートグループ TEL. 0466-20-3000 FAX. 0466-20-3010

賛助会員の広場



**あの仕事も、この業務も、
次は、保安教育もやらないと**

みんなガスシル が **解決** します!

01

ガスシルラーニング
高圧ガス保安教育動画

高圧ガス保安教育※にまつわる忙しさが解消されます!

- ・講師の手配/発注
- ・会議室予約
- ・資料作成
- ・時間調整
- ・結果の取りまとめ

02

ガスシルアカデミー
高圧ガス危険体感講習

高圧ガスのことがよくわかります!

- ・高圧ガスの物性/危険性
- ・ガスと設備の取り扱い方法
- ・他社の課題/悩みと解決方法

03

ガスシルサロン
安全を学ぶオンラインサロン

組織全体の安全意識が高まります!

- ・関連知識の習得
- ・危険感受性の向上
- ・安全教育の方法

(登録商標第6663408号)

大陽日酸株式会社

基盤事業支援ユニット 営業企画部
本社 〒142-8558 東京都品川区小山1-3-26
TEL : 03-5788-8315
E-mail : Info.gasusiru@tn-sanso.co.jp
www.tn-sanso.co.jp

詳細の確認・お問い合わせは、
QRコードからお願いします。



日本酸素ホールディングスグループ

賛助会員の広場



現場穴あけ作業は

コードレスの時代へ

強力

36V

バッテリー
採用モデル



 は工機ホールディングス株式会社の商標または登録商標です。

穴あけ加工数

約 **20%**
アップ

穴あけ加工時間

約 **40%**
短縮

※当社従来品比 板厚16mm、穴径22mm、材料SS400の場合

全高

150mm



最大穴径

φ27mm

最大板厚

25mm

携帯式磁気応用穴あけ機

アトラエース® コードレスタイプ

型式 **CLO-2725 / CLO-2725(NN)** PAT. D.PAT

CLO-2725

バッテリー・充電器・キャリーケース 付き



CLO-2725(NN)

バッテリー・充電器・キャリーケース なし





製品紹介動画

技術で、人を想う。

日東工器株式会社

本社・研究所 / 東日本支社 〒146-8555 東京都大田区仲池上2-9-4 Tel:03-3755-1111(大代表)
 西日本支社 〒537-0001 大阪府大阪市東成区深江北2-10-10 Tel:06-6973-5501(代表)
 中日本支社 〒465-0092 愛知県名古屋市長東区社台3-173-2 Tel:052-726-9041(代表)
 支店 札幌/仙台/新潟/松本/北関東/東京第一/東京第二/静岡/浜松/三河/名古屋/北陸/京都/大阪第一/大阪第二/高松/岡山/広島/福岡
 海外拠点 アメリカ/ドイツ/イギリス/タイ/インド/シンガポール/インドネシア/オーストラリア/中国

●お客様相談窓口(土・日・祝日を除く)

 受付時間/AM8:30~PM5:15

0120-210-216

www.nitto-kohki.co.jp



全てを絡めとれ。



スパイダーネット

日本レチボン株式会社

〒550-0014 大阪府大阪市西区北堀江 1-22-10

TEL 06-6538-0138 FAX 06-6534-1967

www.resibon.co.jp

ホームページはこちら 

第15回 写真コンテストのご案内

会報誌全溶連の表紙を飾る第15回写真コンテストの開催にあたり皆様からの写真を募集致します。

奮ってのご応募をお待ちしております。

応募作品:テーマは自由で季節を問わず人物、風景、名所、旧跡等の写真で一人3点まで応募できます。但し、他のコンテスト未応募作品で著作権などの権利のすべてが応募者に帰属するものに限ります。

必要事項:「作品タイトル」「会社名」「撮影者氏名」「会社の住所」「会社の電話番号」を必ず明記ください。

応募資格:全溶連会員及び
会員の従業員及びご家族の方

写真サイズ:カラー、プリントの場合は2Lサイズ以上
電子データの場合は500万画素以上

表彰:優秀賞 1名 商品券 1万円
佳作 若干名 商品券 5千円
参加賞 入賞者以外の応募者全員の方にクオカード1,000円分を贈呈致します。

※優秀作品は会報誌の表紙に掲載させていただきます。

選考:全溶連広報委員会にて選考

締め切り:2024年11月29日(金) 必着

送り先:〒101-0036

東京都千代田区神田北乗物町12 大竹ビル
一般社団法人全国高圧ガス溶材組合連合会
E-mail: honbu@zenyoren.com

作品の返却:返却希望のある場合を除いて原則、返却致しません。

ぼくはボン兵衛くん

原作：封舘ほうか 作画：ひくさん

第四十六話 「容器の仕事は四六時中!」の巻



全溶連・福祉共済制度のご案内

全溶連には4種類の福祉共済制度があります。毎年1月1日始期の定期更新及び新規加入の申し込みが10月からはじまります。(GLTDのみ始期は4月1日)

団体定期保険
〈事業所加入型〉

加入しやすい掛け金で
万一の死亡に備える保障
年齢に関係なく掛け金は同じです。

傷害補償 〈団体総合生活補償保険〉

経営者・従業員のみなさまの
業務上のケガを補償
業務中以外も補償する
24時間タイプもあります。

医療補償 〈団体総合生活補償保険〉

病気やケガに備えた
充実補償
8大疾病に対応した
オプションもあります。

長期障害所得補償
(GLTD制度)

〈団体長期障害所得補償保険〉

保険料は損金加入が可能
優秀な人材確保につながります
訴訟抑制効果が期待できます。

申込締切日：2024年11月1日(金) 効力発生日：2025年1月1日(水)

全溶連・福祉共済制度に「八大疾病一時金補償特約」がセットできます！

毎年、連合会会員特典として募集を行う全溶連・福祉共済制度に
“八大疾病を発病し、所定の要件を満たす場合に一時金をお支払いする特約”を「医療補償
 プラン」の専用オプションとして2023年1月より追加し、より一層魅力ある制度となっております。
 是非、医療補償プランへのご加入をご検討ください！

補償の概要について

この補償は被保険者が八大疾病（がん・急性心筋梗塞・脳卒中・
 糖尿病・高血圧性疾患・慢性腎不全・肝硬変・慢性膵炎（注））
 を発病し、所定の手術や症状の診断がされた場合に一時金をお支
 払いするものです。

（注）糖尿病は、糖尿病性網膜症または糖尿病性壊疽と診断された場合、高血圧性疾患は、
 大動脈瘤解離または大動脈瘤と診断された場合をいいます。



お支払する保険金額 **一時金 100万円**

八大疾病一時金補償特約を導入した背景

「八大疾病」について

八大疾病は上記補償の概要に記載する八つの疾病です。
 そのうち「三大疾病」と呼ばれるがん、急性心筋梗塞、脳卒中は、
 日本人の死亡率の約半分を占める病気です。
 その「三大疾病」に加え、代表的な生活習慣病（※）である糖尿病
 ・高血圧性疾患・慢性腎不全・肝硬変・慢性膵炎もまた罹患率の
 高い疾病であり、あわせて「八大疾病」と呼ばれています。

（※）生活習慣病は、食事や運動、休養、喫煙、飲酒などの生活習慣が深く関与し、
 それらが発症の要因となる疾患の総称です。日々気を付けていても、年齢あるいは
 悪い生活習慣の積み重ねにより発症・進行する慢性疾患で、年々増加しています。

八大疾病一時金補償特約 対象範囲と患者数
 厚生労働省 患者調査（平成29年）

がん	179.5万人
急性心筋梗塞	4.7万人
脳卒中	97.3万人
糖尿病	328.4万人
高血圧性疾患	993.8万人
慢性腎不全	39.3万人
肝硬変	5.4万人
慢性膵炎	3.1万人

補償導入の理由

この「八大疾病」に罹患して入・通院を余儀なくされた場合、治療費、入院中の雑費、通院交通費など、
 さまざまな費目の出費がかかります。
 社会環境の変化に伴って急増している生活習慣病のリスクも補償できるため、万一八大疾病を発病した
 場合、**経済的な不安なく、治療に専念する環境を提供し、早期復職に向けた療養期間を過ごしていた
 だくための補償を提供することが福利厚生制度において必要であるという考え方から導入しました。**

このご案内は概要を説明したものです。ご加入にあたっては必ずパンフレットおよび「重要事項のご説明 契約概要のご説明・注意喚起情報のご説明」をあわせて
 ご覧ください。また、詳しくは「ご契約のしおり（普通保険約款・特約）」をご用意していますので、取扱代理店または引受保険会社までご請求ください。ご不明
 な点につきましては、取扱代理店または引受保険会社にお問合わせください。

団体お問合わせ先 一般社団法人全国高圧ガス溶材組合連合会 TEL03-5296-0430

取扱代理店 **株式会社星和ビジネスリンク**
 （住所）〒108-0014 東京都港区芝4-1-23
 （電話）0120-288-270
 受付時間 月曜日～金曜日 10:00～16:00
 （祝日・12/31～1/3を除く。）

引受保険会社 **あいおいニッセイ同和損害保険株式会社**
広域法人開発部営業課
 （住所）〒103-8250 東京都中央区日本橋3-5-19
 （電話）050-3460-8162

一般社団法人 全国高圧ガス溶材組合連合会

（2024年8月承認）A24-101532

発行所

一般社団法人 全国高圧ガス溶材組合連合会

東京都千代田区神田北乗物町12（大竹ビル）

Tel.03-5296-0430 Fax.03-5577-5062

http://www.zenyoren.com/ e-mail:honbu@zenyoren.com



全溶連は、限りある地球環境の保護に積極的に取り組んでいます。この印刷物は環境保護印刷推進協議会（E3PA）の認証を受け、グリーンプリンティング認定工場で作成しました。

